（1）日刊（除月曜）昭和21年6月1日 第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第283号　いわき民報　夕刊　昭和28年2月25日（水曜日）第2076号

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集発行印刷人 田原登

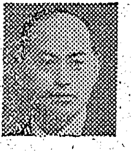
野崎會頭を再選
副會頭に阿部、清宮両氏
きのう役員を改選

平商工会議所新議員の役員選挙は二十三日午後三時半から市公民館階上で行われた 常磐炭鉱と地方の発展を結びつけるため常磐炭鉱を代表する湯本鉱業所長林田満氏を推す空気が大きく、野崎前会頭も全面的に林田氏を支持していたが、林田氏は会社側の意向として固辞して受けず、無理に推薦されると議員も辞任すると決意を披歴したため、急転直下野崎前会頭に全会一致して再選に決まり、副会頭には炭鉱方面とのつながりを考慮に入れて清宮一郎氏が新たに選ばれた、専務理事は議員外から草野四郎氏が再選、新会議所議員では平商業研究会の進出が目立ち、同メンバーが三分の一に当る十名を占め、商業部門の活動に期待をかけられている

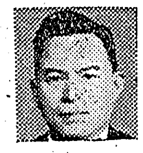
会頭 野崎満藏（再）
副会頭 阿部政右衛門（再）
〃 清宮一郎（新）
理事 中村芳平（新）
〃 佐々木俊男（再）
〃 緑川佳一（再）
〃 強口唯七郎（再）
〃 正木昌次郎（再）
〃 佐藤三平（新）
〃 山崎賢助（再）
監事 坂井清之助（再）
〃 瀧口豊（新）
専務理事 草野四郎（再）

會議所新議員

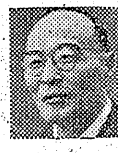
会議所新議員の顔触れ左の通り（届出順）


小野栄一（五一）呉服店 平市四丁目三九

強口唯七郎（七〇）土建業 平市田町一九


緑川佳一（四六）洋品店 平市才槌小路一〇

瀧口豊（五一）材木店 平市五丁目八

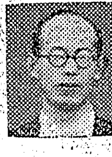

山家重吉（六四）洋品店 平市二丁目二六

山崎賢助（四八）呉服店 平市二丁目三四

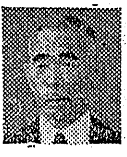
武田金一（四〇）陶器店 平市一丁目三三

佐々木俊男（五〇）家具店 平市三丁目一七

鈴木文雄（四一）製綿店 平市新川町一六

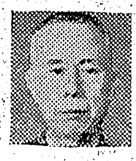

坂本昌蔵（三六）文房具店 平市一丁目一五

中村芳平（五〇）片倉製糸所長 平市三倉八


野崎満藏（七二）常磐交通社長 平市旧城跡一二

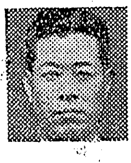
阿部政右衛門（六四）石炭販売業 平市才槌小路三〇

鈴木条三郎（六七）磐城運送社長 平市才槌小路二四


清宮一郎（六〇）常磐坑木社長 平市八幡小路九二

山田盤麿（六一）金屋商店勤務 平市中町

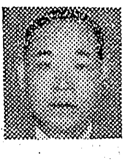
正木昌次郎（四七）平工業社長 双葉郡大久村大久


坂井清之助（四四）税務代理士 平市中町六

佐藤三平（六二）木材業 内郷町大字小島字新町一一

野沢武蔵（四八）いわき民報社長 平市田町四八

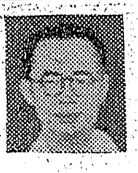
岡田不二（四〇）東部産業取締役 内郷町大字宮字代一三七


志賀子之松（五三）木材製角業 平市四軒町一七

吉田博（四五）パン店 平市才槌小路一六

角川光以（五九）材木店経営 平市才槌小路一六

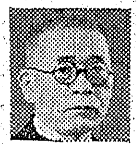
林田満（五九）常磐炭鉱所長 湯本町辰ノ口一


渡辺恭三（四六）呉羽化学工場長 石城郡錦町大字仲田字落合一六

服部梅雄（五五）品川白煉瓦工場長 湯本町字天王崎一

中野世須美（五五）林産組合員 石城郡上遠野村

佐藤源吉（五五）鉄工所長 平市月見町二一


渡辺重三郎（六九）磐城貨物社長 植田町字町後三五

專務理事再選

草野四郎（四五）田辺製作所重役 内郷町大字宮

小名濱映畫會

小名浜町公民館ではナトコ映画会を次の日程で毎日午後六時半より開く、〝いとしき子等のために〟〝四季の農場〟などを上映、入場は無料 ▼二十五、六の両日小名浜公民館ホール▼二十七日野田部落公民館

石井氏當選
小名濱町議に

小名浜町選挙管理委員会では選挙会を二十三日午前十時より町長室で開き、第二選挙区を（旧玉川地区）町議員（一名）の補欠選は立候補届出者がたゞ一人のため無競争で同町大字大原字上坪六農業石井幸平氏（三七）の当選を決定 直ちに当選証書を交付した

議員数は定員二十六名に対し二十五名（第一選挙区定議席二十二名中一名は未補充）が勢揃いしたわけ、なお石井氏は議員中の最年少者でたゞ一人の（日本社会党員である）

（寫眞は当選した石井氏）

―宣傳廣告メモー
④
販売は増加させたいが
外交はふやしたくない
この矛盾した要求を解
決する道が広告である
『広告は見本をもつて歩く
外交の代用品である』
PR6

ろ過器が五台
中平窪の簡易水道で陳情

既報＝平市鉱害対策委員会は二十四日午前十時から市役所委員会室で開き赤井村日曹赤井炭鉱の鉱害対策について協議の結果同炭鉱の地下採掘による鉱害で井戸水の枯れた中平窪地内に簡易水道を早急に施設する運動を厚生省に陳情することを申し合せた、簡易水道の施設は予ねてから県衛生部に折衝していたが現在鎌田山上水道の公営企業をもつ関係上簡易水道補助は困難であるとの見解で実現が危ぶまれていたもので簡易水道の実現によって中平窪地内百戸が救われることになり地域民の期待は大きい、なお簡易水道施設工事は予算三百万円（四分の一国庫負担）で簡易ろ過器四台を据えつけ百世帯六百人に給水するもので県費補助はない

優生保護相談所
四月から平で新発足

優生保護法一部改正に伴う優生保護相談所は県の指示により四月一日から発足することになり去る二十日平優生保護相談所長として隆文雄氏（平保健所長）に兼務の辞令があつた 同相談所は県下の各保健所内に併設し受胎調節指導、普及にあたり優生児の育成を図るもので職員は主事一名、職員一名保健婦三名が当る

停電時延長
電力更に悪化

東北電力平営業所管内では二十四日から昼間停電時間を次の通り変更実施する、今後雪解けがあり出力増加の見込みだが停電時間は従来より一時間半延長した

農業實践大學
非常な盛況
きよう終了式

平市主催の第一回農業綜合実践大学は去る二十日から二十四日まで平市公会堂日本間で開催、受講生約三百名があつてかなり盛況だつた、二十四日午後三時から終了証書授与式を挙行し五日間にわたる大学を終えた

衣類を寄贈
内郷の石森氏

内郷町宮字金坂雑貨商石森義永さんは二十四日午前九時ごろ同町役場社会課を訪れ『生活困窮者に差上げて下さい』と中古大人用上衣三十七点、下衣四点を寄附し喜ばれている、永山社会課長は『明二十五日民生委員会を開き善処するが奇特な人です、機会を見て感謝状を贈りたい』と語つている

檢擧に好成績
植田署表彰さる

植田署では昨年十一月二十日から十二月十九日の鑑識利用強調月間中好成績を納めたので湯浅隊長より二十一日附で金一封と賞状をおくられた、又捜査運営方針に玉川署長以下署員一体となり検挙成績優秀のため仙台管区椎山本部長よりも賞状を受けた、また同署巡査能谷衛氏は二十七年度年間優良成績により二十一日県本部川井警備部長から、警備係警部補原田春吉氏は二十一日警備の実を挙げた功により湯浅隊長から金一封を夫々贈られた

愛の金庫
小名濱で受附

小名浜町では身体障害者の更生資金を対象とした県の〝愛の金庫〟の申請を二十八日まで町役場厚生課で受附ける、身体障害者で将来堅実な生業を営み経済的自立の出来得ると認められる者を県が選び一人三万円以内を限度とした事業資金として貸付けるもの、申請書は同課に備付けてある

好間青年學級
二小で開設

好間村の青年学級は次の日程で好間二小に開設する（カツコ内は講師）▼二十五日 社会（平一中鈴木光四郎）▼三月四日 数学（好間二小大河原幸夫）▼七日 社会（好間二小高木勝男）▼十一日 理科（好間二小大河原幸夫）▼十五日 終業式 なお終業式終了後青年会の総会を開き支部長改選及び運営につき協議する

療護園の生活
廿六日夜放送

平市平窪の福島整肢療護園では去る十四日園児の生活を録音にしたが廿六日午後六時四十五分から放送する

湯本町校長會

湯本町内校長会は二十四日午前十時から一小に開き二十七年度末人事と二十八年度予算及び行事計画につき協議した

天氣予報 廿四日

『今晩』南西後北寄の風晴勝ち
『明日』北寄の風初め雲が多いが後晴れるみこみ、海上今晩は多少風波があるが明日は穏か

キャバレー
フラワー
女性大募集（収入多大）
未經驗者歡迎
平市田町
TEL4

京呉服
三井呉服店

看護婦及見習募集
一、十八才から二十五才位まで
一、委細面談 優遇す
内科 小児科 賀澤醫院
小名浜町花畑電二九三

生徒募集

本科	一カ年	二〇〇名
研究科	一カ年	一〇〇名
速成科（夜間）		五〇名

無試験入学（願書受付順書類詮衡）
公認 平高等洋裁學院
平市一丁目角電一三三六
一、東京文化服装学院連鎖校
二、高等学校家庭科免許状授与指定校
【入学案内進呈】

懸賞標語募集廿五日締切

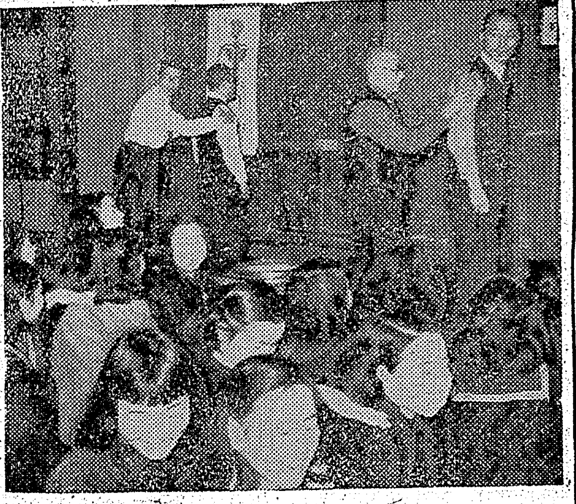
『今日は三越明日は帝劇』
これは大正時代の三越の標語
『大切なお金で上手な買物』
昭和になつてからはこの様に変りました
古なつかしいお菓子の老舗皆様の松月堂では古い伝統のなかに新しい技術を生かして和、洋菓子、銘菓たいら羊かん、松の月、御家宝、かすていらと製造に研究努力を続けております
このたび三越の標語のように当松月堂にふさわしい標語を募集しております
左記によりぜひ奮つて御応募下さいませ
▼特賞三千円（一名様）佳作三百円（五名様）
▼用紙は官製葉書
▼締切は明二十五日
▼宛名は平市銀座街松月堂
▼発表は三月一日（本紙上及び松月堂店頭）
御菓子司
松月堂
平市銀座街電二〇六

米国最新発明のヒーチングキャップを設備いたしましたパーマのかけすぎ毛髪の荒れ頭皮の荒症フケの多い方毛染にて傷められた人には特に効果があります
☆ゼヒ一度お試み下さい

新製おみやげ品
銘菓
めらるぺ
いづみ家
平市五丁目電一二七四

今年も
時計は
保證付の
金光堂
五丁目電一九五
☆記念品贈物のお名入れサービス致します☆

日刊 1カ月金100円郵送126円（週2回四頁建）（除月曜）定価一部（二頁）3円（四頁）6円 （第三種郵便物認可） いわき民報 夕刊 昭和28年2月25日 （水曜日）第2076号 (2)



花嫁修業へ

磐女高であんま講習

磐女高では今春卒業する三年生（三百七十五名）の特別指導の一環として平盲人協会長館脊栄氏を招き二十四日午前八時半から作法室でマツサージ講習会を開いた、ネライは卒業してから両親や姑に従える花嫁修業の一つだそうで館講師の揉み、打ち、ほぐしの妙技に感心しながら嫁ぐ日の思いに胸をときめかせながら熱心に受講し、難しいマツサージのコツを体得した（写真は講習会風景）

中型底曳船の整理

漁業者大會で活潑な論議

水産庁では乱獲が祟つて年々減産の一途を辿つている底曳漁業の対策として資源固渇を防止するため中型底曳漁船の整理を断行することになつたが、この成行如何によつてはハマの死活問題になるので

本県の漁業者も問題を重視していたが、県底曳網漁協組連合会では二十三日午後二時から江名町漁協組会議室に第一回県底曳網漁業者大会を開催した、参集者は県下各漁協組役員、係員、船主など約八十名で県水産課から松井技師が出席、先ず同技師から

中型底曳船（十五トン以上）の減船問題は沿岸漁場の資源の確保と底曳漁業の合理的な経営を図るため行われるもので、水産庁では二十八年度百隻、二十九年度百三十隻の二カ年計画で二百三十隻の減船を予定、転業資金として二十八年度当初予算一億二千万円を組んだが以外にも転業を希望するものが多く六十四隻に及んだ、ところがこの予算がその後七千四百万円に減額された、めその後全国で五十五隻（一千七百五十五トン）の減船が決定した、このため本県関係も含まれている北太平洋海区（千葉県以北、北海道まで）では三十五隻が減船対象の予定となつた、該船は中型カツオ、マグロ（二十トン以上百トン以下）棒受け鮭鱒流網（北緯四十七度以南）などの各漁業への転換は認められこれに伴う船体の改装、漁具の購入などの転業資金は一トン当り四万円位補助される方針、また退職乗組員には一人当り八千円程度の退職金が支給されると先に開かれた全国水産部課長会議の経過を報告、続いて小松県連合会長を議長に推し小松議長から本大会は公聴会の形で議事を進めてゆきたいと説明があつて松井技師の間に次のような質疑応答がかわされた

問 北太平洋海区で転換を希望するものが四十四隻あるときいているが無条件受諾か

答 四万円程度の転業資金で無条件だ、然し融資の点で考慮して欲しいと云つている

問 転業資金は補助金でなしに補償金と云う名目には出来ないか

答 補償金は出さない方針だと云う

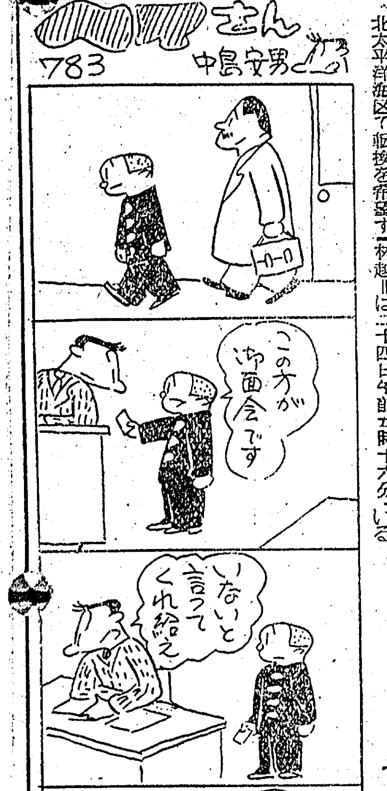
問 底曳漁業をやめてイワシアグリの運搬船は出来るか

答 漁業に転換するのではないから該当しない

問 どうしても二十八年度には第一回の減船を行うのか

答 二十八年度は本県内に希望船がなければやらない

など質問は活溌に出されたが減船に対しては主旨が徹底していないこと、水産庁の方針がハツキリしないことなどから水産課から提案された①鮭鱒、カツオなどの漁業権と転換資金を貰つて転業するか②底曳漁業を返上してカツオ、鮭鱒などの漁業権が取得出来るとすれば転換するか③転業資金はいらないが底曳とカツオ漁業をやりたいとの三事項を了承、二、三日後に各漁協組が各船主の意見を取纒めた上で県底曳連会に連絡すると云うことで結論まで至らずに同四時閉会した（写真は漁業者大会風景）



さん
783
中島安男
この方が御面会です
いないと言つてくれ給え
あのー

更に一名死亡

ガス爆發死亡五名に

既報＝去る十九日朝の山田村大昭炭鉱第一坑のガス爆発事故で全身爆傷瀕死の重傷を負い植田町櫛田医院に入院加療中の同鉱採炭夫根本幸助さん(二九)＝山田村上山田字林越＝は二十四日午前九時十六分ごろ遂に死亡した、これで同事故による死亡者は五名となつた、なお事故当時死亡した採炭夫相力瀬愛仁氏(四五)の長男相力瀬毅男君(二三)も全身爆傷瀕死の重傷で同医院に入院中だが生命が気づかわれている

成澤炭鑛で出水騒ぎ

二十三日午後六時ごろ箕輪村成沢炭鉱で坑内に出水があり排水作業を続行しているが、出水が排水ポンプの排水量よりも多く気づかわれている、しかし現在のところ水没の危険はない模様、なお同鉱は月産四百七十二屯の小ヤマである

自稱大學生擧る

磐崎村藤原字湯の岳二自称大学生大森英吉(二四)は去る十二日午後五時ごろ知人の湯本町天王崎二蛭田薬局を訪ね『父が肋骨を二本折つたので医療費を貸してくれ』と嘘をつき現金二千円を詐取した疑いで二十三日湯本地区署に捕まった余罪あるらしく追求中

廿万圓盗む

機關士擧る

小名浜地区署では茨城県鹿島郡波崎町中町機関士小倉光雄(三二)を二十三日窃盗容疑で逮捕した、調べによると去る四日ごろ小名浜町本町一大貫業長瀬左京さん方の留守中に店舗へ忍びこみ保管中の腕時計など七点（一万八千円相当）及び七十七銀行の二十万円の預金通帳を盗み逃走していた疑いで二十四日身柄送検

少年鐵管盗む

湯本町宝海二八無職B(一七)は二月一日ごろから二十日ごろまでの間に五回にわたり同町常磐炭鉱機電倉庫から武内幸基さん保管の六インチ鉄管一本その他鉄製品など二万五千円相当を盗み覚醒剤ネオアゴチンを買っていた疑いで二十二日湯本地区署に捕まった

危険物取扱者 映寫技術者

合格者發表

平消防署で過般実施した危険物取扱主任者並びに映写技術者試験を行つた結果合格した者次の通り

◇危険物取扱主任合格者（甲種の部）渡辺英雄、佐藤馥、千葉久三郎、馬目太七、西山碧卓、佐藤昌之、佐藤初太郎、相沢忠吉沢沖次郎（乙種第三類の部）渡辺きみ子、小野寺勘（乙種第三、四類の部）伊藤博 二片厳夫、坂本好定、宗形利雄、渡辺勝也、高木茂、佐藤三千彦、池田一郎、国井栄三郎、高田利男佐藤三男（乙種第四類）高橋良平、御代力雄、荒川三雄、平野辰雄、千葉熊治、寺田昭二、桑名通夫、津野長蔵、山崎良一、白鳥光康、草野耕治、坂田良三郎、益子智喜、横山久芳、高橋宗、市川善喜、渡辺次郎、斎藤秀也、谷藤新一、小野裕、宮森蔵、佐藤寿男、伊藤広重、鈴木武司、太田徳治、水庭寅夫

◇映写技術者合格者（一級の部）矢代松技、柿沼節雄、篠原光之久野仁、佐々木孝一、庄司善春（二級の部）木幡長平、児玉有治、国勝、乃木栄一、三本松正井正太郎、佐藤宗伯、伴タケヨ鈴木剛、石沢隆男、山田勝巳、木田昇、十文字実、平沢守一、石原昭男、八島清一

平文化講座

あす終了式

平市公民館主催の二十七年度文化講座終了式は二十五日午後一時から平三小講堂に受講生凡そ三十名を集めて開き精勤者に表彰状と記念品を贈る、二十七年度中の開講日数は十日であつた、なお二十八年度は四月から開講の予定

壽司部會總會

県聴会寿司部会（部会長相良勝二氏）では来る二十四日午後二時から平市紺屋町ご汁屋で浜通総会を開き引続き午後三時より各業者、関係者約三十名を招待して調理の研究、工夫などについて懇談会を開いた

ラジオ JOHQ JOHZ

（25日）

前七・三五 平若松通信 半沢三男 高橋清

前一〇・四五 学校放送中学校の時間 社会と職業『先輩は語る』

後〇・一五 子供の時間 児童劇 福島放送子供会

後〇・四五 芸能クラブ 合唱福島放送合唱団

あかやのYシャツ

コロムビアラジオ
特約店 平市二丁目
日東商会

NISSHO 日章
帳簿 バインダー 複写伝票類
特約店 [illegible]文堂

品質本位
家庭染料
みやこ染
浜三郡代理店 平地方医薬品商業協同組合 平二ノ二二

折詰仕出し
江戸前寿司
カツ丼
親子丼
天丼
カレーライス
支那そば
うどん類
出前敏速
食堂 なじみ 七三
電話も七三番 平市本局ウラ通り
配達は夜間二時半迄多少に拘らずお届けいたします

外科 内科 婦人科 歯科
整形外科 胃腸科 性病科 放射線科
医療法人 松村病院
院長 松村亭
平市南町二三 電話一〇七番（平駅より大通り真直ぐ約二丁）
看護婦募集
大田耕作
河島清作
岸本隆夫
松村政次
放射線科 新妻春治
薬剤師 菊地政次

アツママルセル石鹸
質が良いので評判です
亀の子、角型、丸型 化粧用ホーサン石鹸等 各種
サンキュー 佐々木商店
平市かじ町 電二三六九

労災保険指定医
外科（胃腸科）
整形外科
産婦人科
レントゲン科
（入院随意）
永井醫院
院長 永井勝三
植田町大町43 電47

社員募集
年令二十五才以上 旧中等学校卒、市内在住、通勤可能の者、写真、履歴書持参、身元保証人二人、戸籍抄本要、待遇委細面談
二十六日正午まで
平市田町一六 福島民報平支社

春の流行服地はオットマン
婦人服の形は最近ますく柔かくなつたので生地もやわらかな味が好まれ、殊に動きによつて変化の現れるオットマンが流行のトツプを切つていますが藤越にはこの他沢山の流行地が入荷。
●純毛オットマン 一一〇〇円
●化繊 〃 二四〇円より
●純毛ジャージ 八二〇円 〃
越
藤越 小名浜 平市

平名物
花子まんじゅう
製造元 株式会社 平製パン 平市かじ町21

専 ふとんとわた専門店
綿の品質は良くなり戦前と同じくなりましたがまだ不良品も出廻つております
★…綿の御用は信用ある店で
平2丁目 ふくたや號 平製綿KK 電748

高級既製洋服専門店
丸恵屋
平市中央通 甲陽館前

名産本場直受の
牡蠣（カキ）入りました
★美味しい カキフライ 酢のもの
ゼヒ御愛食を願います
デパートお食事の 不二屋
平市世界館前 電886